

[001]附属環境工学研究教育センター研究活動報告

<https://doi.org/10.15017/2553402>

出版情報：附属環境工学研究教育センター研究活動報告. 1, 2019-06-28. Center for Research and Education of Environmental Technology, Faculty of Engineering, Kyushu University

バージョン：

権利関係：

巻頭言



センター長・教授 原 一広

環境に関する問題は、その都度都度において多様に様相を変化させています。特に最近のアジア・アフリカ地域における著しく急速な産業発展は、太平洋ゴミベルトやPM2.5などの越境廃棄物による汚染問題でも明らかになった様に、汚染発生地域におけるローカルな環境の悪化に加え、汚染がグローバルな範囲に及ぶ事により新たな環境問題を発生させ問題解決を困難にしています。この様に、環境に関する状況は、様々の側面において絶えず変化しており、環境問題は過去のものとは決して言えない状況です。

現在でも決定的打開策が見つからない古くて新しい環境問題の解決の為には、広範な影響を俯瞰する視点に加え、各地域における現状、新技術や施策が各地域に与える影響にも十分に配慮した工学技術研究・開発、および、次世代を担う人材の教育が重要です。

九州大学大学院工学研究院では、これまで部門横断型の環境に関わる工学研究院附属研究センターを運営してきておりますが、急変し複雑化する環境に関わる課題解決を行う研究教育体制の確立の為、2008年4月より活動しておりました附属循環型社会システム工学研究センターを改組し、附属環境工学研究教育センター（附属環境センター）を2018年4月に設置いたしました。

新設されました附属環境センターは、時限を付した研究テーマを掲げた研究ユニットを最小単位とする従来ない組織構成となっており、急速に変化する現在の環境問題の状況に即応する研究教育を行う事を目指しております。また、センター名に「教育」を掲げた事により、環境関連研究の推進に加え、市民活動への協力をはじめとする環境に関わる人材育成・啓発活動についても学内外を問わず積極的に行う所存です。

最後になりましたが、附属環境センターではこれからも環境問題の解決を目指しサステナブルな社会構築を支援する研究教育活動に邁進する所存ではありますが、皆様方におかれましては当センターの研究活動に対する一層のご支援を賜りたくお願いする次第です。よろしくお願い申し上げます。